

2020年5月15日

JFE 鋼板株式会社

東日本製造所連続カラー塗装ライン（CCL）生産体制の強化について

JFE 鋼板（代表取締役社長：小川満）は、東日本製造所千葉地区（千葉市）の連続カラー塗装ライン（千葉 CCL）の生産能力増強に伴い、京浜地区（川崎市）の連続カラー塗装ライン（京浜 CCL）を休止し、その生産を東日本製造所千葉地区に移管し、東日本製造所カラー鋼板の千葉一貫製造体制を確立することにより生産体制の強化を図ることとします。

千葉地区は、2016年に連続溶融めっきライン（千葉 CGL）のめっき槽の2基化を行い塗装鋼板の素材として市場ニーズの高いガルバリウム鋼板の生産が可能となりました。更にこのたび、千葉 CCL の高いラインスピードを活かす操業改善や主力カラー商品の J クラフトへの集約による大ロット化を実現することで生産能力を大幅に向上させることが出来ました。

一方、京浜 CCL は、稼働率は概ね50%程度という状況が続いておりました。このたび、千葉 CCL の生産能力増強により、京浜 CCL 製造分を吸収できる目途がたったため、当社カラーラインの最適運用実現の為に、2021年3月末を目途に京浜 CCL を休止し、その生産を東日本製造所千葉地区に移管致します。

これまで京浜 CCL にて製造していた商品に関しては、今後、お客様でのアプルーブ活動を本格化し、承認が取得でき次第、順次千葉への移管を開始します。千葉地区でのカラー鋼板一貫製造体制を確立すると同時に、全社としてのカラー生産量は京浜休止前と同等以上の数量を確保致します。

以上